

1 ブラジルからのメッセージ

世界子ども音楽さいに参加される友人、そして仲間の皆さん

私たちは、アーサオ ソーシャル ペル ムージカ ドウ ブラジル です。このような、異なる国・文化を背景とするたくさん子どもたちが集い、同じ舞台上、音楽の力を通してそれぞれが繋がれる、素晴らしくそして包括的な音楽さいに参加できることを光栄に思います。

私たちは昔からの友人であるエル システマジャパンの皆さんと一緒にいられることも大変光栄です。私たちの組織は 1994 年にブラジル人指揮者の ダビッド マシャドにより設立されました。彼は友人のベネズエラのエル システマのホセ アントニオアブレウの活躍に感銘を受けたのです。それにより、アーサオ ソーシャル ペル ムージカが作られ、子どもたち、若者たち、そして社会的に脆弱な状況にあるコミュニティに属す人々にクラシック音楽を教えることを通して社会的ほうせつを促進することを目的としています。現在、いくつかの音楽教室を運営・管理し、4,400 人以上の子どもたちを支援しています。

社会教育的な活動と並行して、私たちはリオ デジャネイロ ユースシンフォニー オーケストラ、そして様々な室内楽グループ(教室)を展開してきました。若い演奏家たちの才能に目を向けて、法人として長年取り組んだ、活動の結果をおさめ、彼らのプロへの道を切り開いてきました。

COVID-19の大流行にも関わらず、私たちはリモートの活動で大成功することができました。そして、社会的に離れた方法だったため、私たちはバーチャルでライブや発表の場を計画し、生徒たちが楽器の勉強を続けられるように促しました。来年も音楽さいに参加できることを楽しみにしていますが、今回は直接、子どもたちがかけがえのない経験を共有し、音楽に、人生における壁を乗り越える力があるということに気づくことができれば幸いです。このような素晴らしい機会をくださり、本当にありがとうございます！皆様が安全で健康でありますように、願っています。世界子ども音楽さいの皆様へ、心からの尊敬をこめて。

2 スコットランドからのメッセージ

世界こども音楽さいにお集まりの皆さん。こんにちは！スコットランドのビック ノイズ ラプロッホです！

皆さんに直接、お会いしたかったのですが、本日は映像を使って音楽と学び、歓びと笑いを、皆さんにお届けしたい、と思います。ビック ノイズ とはコミュニティを基礎として子どもや若者、そして家族と共に創り上げる高質な音楽教育を提供する社会変革プログラムです。活動内容は、音楽と教育によって、子どもたちが自分自身の可能性に気づき、人生をさらに豊かにすること、そして、コミュニティ全体の団結を支援することにあります。

ビック ノイズ は、コミュニティとしての交響楽団であり、子どもたちに、自信、チームワーク、活気、プライドや向上心といった、人生で必要なスキルと経験を与えるのです。

ビック ノイズ ラプロッホ イン スtring は 2008 年に創立し、その時は6人の音楽家と 35 人の参加する子どもたちしか、いませんでした。

しかし、今では、赤ちゃんから学校を卒業した若者まで、幅広い世代の人々が集まる、オーケストラと合唱団にまで成長しました。ラプロッホは最初の活動拠点であり、

現在では他にグラスゴー、アデルディーン、ダンディー、の3つの拠点での活動も行われています。ロックダウン中に、この活動ができることが嬉しいです。毎週できることがあり、話せる友達がいるからです。オンラインでの練習はとても楽しいです。オンライン上で、できることは限られていたとしても私たちが最大限に支え合うことができるのです。

オンラインレッスンはロックダウンの時でも目標に向かってモチベーションを保つためにもすごく役に立っています。ロックダウン前、そして新型コロナウイルスが流行する前は、練習びになると「今夜は楽団の練習だ、面倒だな」と練習を終わらせて、早く家に帰りたいと思っていたのに、ロックダウン中は、ずっといえにいなければならず、

火曜日の午後5時 15分になると「ちょうど楽団の練習が始まる時間だ、練習に行きたい」と感じます。ビック ノイズで当たり前だった毎日が本当に恋しいです。僕はビック ノイズのおかげでロックダウン中にモチベーションを保つことができます。怠けて何もしないのではなく、代わりに音楽の練習をすること、そして、そとの世界と繋がることのできたのです。グループの中で活動することで私たちは自信を持つことができます。私はリンカダスに入った時、楽団の中で友達ができなだらうと思っていましたが、今では沢山の友達ができて、以前よりも話すことに自信を持てるようになりました。

僕は長いあいだ、所属しているのでビック ノイズの活動に対して責任感もありますし、ここは僕のことを落ち着かせてくれる場所でもあります。苦しくてうまくいかない時でも ビック ノイズは僕たちの味方でいてくれるのです。

3 韓国からのメッセージ

こんにちは。エルシステマ韓国です。

エルシステマジャパンの子ども音楽さいが成功する事を願っています。

コビット 19(新型コロナ)の影響で一緒にできませんが、オンラインでお祝いできることを嬉しく思っています。

今回の音楽さいが多くの人の励みになると思います。

また、オリンピック開催国としても成功できるようサポートします。

宜しければ是非動画をご覧ください。

4 ニュージーランドからのメッセージ

こんにちは！“タロファ ラバ”（サモアの言葉で[こんにちは]）、皆さんこんにちは～

（パンデミックのため）日本で開催される「世界こどもフェスティバル」で、皆さんと一緒に音楽を演奏することができないことをとても残念に思っています。

また、ぜひ日本で皆さんと一緒に音楽を楽しみたいです。

私たち、システム アオテアロアについて少しご紹介します。

システム アオテアロアは 2011 年から運営されています。

ニュージーランドのオタラに拠点を置いて活動しています。

このプログラムには、7 歳以上の子どもたちが毎年 1,100 人以上参加しています。

今回のパンデミックは、とても大変なものでした。

ニュージーランドの警戒レベルが 1 だった頃は、素晴らしいリハーサルやパフォーマンスを行いました。

しかし、現在はレベル 3 になっています。フェスティバルでのオンラインパフォーマンスをとても楽しみにしていますし、私たちの「演奏の気持ち」を伝えたいとも思っています。

皆さんがシステムを楽しんでいることを願っています。

お気をつけてお過ごしくださいね～

5 フランスからのメッセージ

世界子ども音楽さいの皆さん、こんにちは！

僕たちはこのプロジェクトが成功することを心から願っています。

直接皆さんといられないのは残念ですが、僕たちは可能な限り、ついていきます。

僕たち、トゥッティ パッサ ドゥ アーツは、フランスを拠点に、全ての子どもたちが音楽にアクセスできるようになること、を目標に活動しています。僕は、参加して 4 年になります。とても良い仲間に出会い、コンサートを開催したり、旅行したり、とっても心地よくて楽しい時間を過ごしています。

エル システムの精神は共有されています。

それは、共に学び、いつも自らが与えられるものを与えることを知っていること。だからこそ、僕たちのやり方では、いくつかのレベルの生徒を混ぜて練習したり、生徒たちが、できるところで、生徒の役割だけでなく、先生の役割を担うことで他者を助けるようにしています。

この困難な時に生きることはとても簡単なことではありませんでしたが、僕たちは、オンラインコースを計画したり、動画を作ったり、リモートでコンサートに挑戦したりするなどして、音楽を楽しみ続けることを頑張ってきました。これは、全て先生がたとチームの協力のおかげで実現したことです。毎日一生懸命に最善策を見つけ、僕たちのやる気を起こそうとしてくれました。

僕たちは音楽さいの参加に向けて本当に頑張ってきましたが、残念ながら参加が叶いませんでした。しかし、僕たちは最後まで音楽さいを開催しようと調整してくれたことをとても嬉しく思います。

6 アメリカからのメッセージ

みなさんこんにちは、ロサンゼルス青少年オーケストラと、ロサンゼルス・フィルハーモニック の友人から、ご挨拶です。私は Elsje Kibler-Vermaas、ロサンゼルス・フィルハーモニックの vice president of learning です。

みなさんのおかげで、私たちが音楽を通してひとつになれることを、嬉しく思います。

日本のみなさん、こんにちは。

私は、スミスめぐみです。

ロサンゼルス青少年オーケストラの生徒さんたちは、

パンデミックが始まってから、いろいろな困難のなか、努力を続け、

オンラインレッスンで音楽を続けています。

今日はヨラ アット オラ（ハート オブ ロサンゼルス）の打楽器アンサンブルグループ、

そして音楽のメッセージを皆さんに届けたいと思います。